

ROTAX RMC BAHRAIN
GRAND FINALS
SAKHIR NOV 29–DEC 06, 2025

BAHRAIN MOTOR FEDERATION | BMF
BAHRAIN INTERNATIONAL KARTING CIRCUIT

技術規則

ジュニアマックス | シニアマックス | DD2 | DD2マスターズ

Support our way.

#MOJO

XPS

BELL
HELMETS

SODI

birelART

Praga

DELORT

WOO

© 2025 BRP-Rotax GmbH & Co KG. All rights reserved. ® and TM and the BRP logo are trademarks of Bombardier Recreational Products Inc. or its affiliates. All other trademarks are the property of their respective owners.



1. RMC GF 2025 カテゴリー 22. 装
備 23. 改造、法的追加、非技術項目、測
定 6 4. ROTAX カートエンジンの技術仕様（エンジンおよびキャブレターシールの外
側） 6 5. シャーシ、エンジン、キャブレター、およびドライブレインオプションに対する許可さ
れた調整 17



TECHNICAL REGULATIONS

JUNIOR MAX | SENIOR MAX | DD2 | DD2 MASTERS

大会はRMCGF 2025技術規則および公式公報、および以下の規則に従って運営されるものとする：• ROTAX MAX CHALLENGE GRAND FINALS 2025競技規則および公式公報• ROTAX MAX CHALLENGE GRAND FINALS 2025補足規則• CIK/FIAカート技術規則および公式公報

イベント主催者は、公式速報として公開される技術規則の変更を発行する権利を留保します。

英語が正式版です。

この文書の見出しは参照を容易にするためだけのものであり、これらの技術規則の一部を構成するものではありません。

1. RMCGF 2025 カテゴリー

- 125 ジュニア マックス
- 125 シニア マックス
- 125 マックス DD2
- 125 MAX DD2 マスター

2. 機器

イベント中に許可される唯一の装備（完成したカートとタイヤ）は、主催者によって貸与ベースで提供され、本規則とその付録に準拠する必要があります。

2.1. 装備の量

- 2.1.1. 第2.3条に従い、シャーシ1台、エンジン/パワートレイン1台、タイヤ1台
- 2.1.2. 各ドライバーは、抽選で選ばれたカート1台（シャーシおよびエンジン/パワートレイン）を、イベント期間中貸与として受け取ります。貸与は公式タイムスケジュールに基づきます。
- 2.1.3. ドライバーは抽選で選ばれた車両を拒否することはできません。
- 2.1.4. RMCGFテクニカルレギュレーション2025およびその付録に規定されていない限り、改造は認められません。有利性を得るために支給部品を故意に改造することは固く禁じられており、違反した場合は失格となります。

2.1.5. イベント中、ドライバー/競技者はカートまたはその一部（バッテリーとバッテリー充電器を除く）をトラック施設の外に持ち出すことはできません。
技術検査官は、イベント中いつでも、指定されたピット スペースに車両が完備しており、すべてのコンポーネントが揃っているかどうかを確認できます。

車両のいずれかの要素が欠落している場合、運転者には以下の罰則が適用されます。

- 予選前に、ドライバーは予選順位に10位のペナルティを受ける。• レース前に、ドライバーは次に出場するレースで10秒のペナルティを受ける。
- 違反を繰り返した場合、ドライバーはイベントから失格となります。

2.1.6. 紛失していると検出された装備品は、技術検査員によって検査されなければならない、交換することもできます。

2.2. シャーシ、ブレーキシステム、ボディワーク

2.2.1. 入札により決定されるカテゴリーごとに単一ブランドのシャーシ。各カテゴリーのブランドは以下のとおりです。

- 125 ジュニアマックス: PRAGA - IPKarting
- 125 シニアマックス :ソディカート
- 125 マックス DD2: ビレルアート
- 125 Max DD2 マスター: バリチェロ カート - BirelART

2.2.2. シャーシはドライバーにランダムに割り当てられ（イベント期間中の貸与ベース）、登録され、Rotax EMS（イベント管理システム）によって定期的にチェック/スキャンされます。



TECHNICAL REGULATIONS

JUNIOR MAX | SENIOR MAX | DD2 | DD2 MASTERS

2.2.3.シャーシ、ブレーキシステム、車体、後輪保護システムは有効なCIK認証を取得していなければならない。

RMCGF 技術規則 2025 およびその付録に準拠する必要があります。

2.2.4. Rotax 125 Junior Maxおよび125 Senior Maxカテゴリではフロントブレーキは使用できません。

2.2.5.主任検査官は、例えばドライバーの身長がカートに適切に収まらない場合など、シャーシへの変更を許可する場合があります。

2.2.6.すべてのシャーシには、固有のシリアル番号（バーコード）が記されたシャーシシールが貼付されています。

2.2.7.イベント中および事故発生時において、ドライバーは車検員の許可を得た上で、シャーシ（フレーム）を1回のみ交換することができます。この場合、フレームおよびその他の必要な部品の代金は前払いとなります（価格はイベント前にメーカーの価格表で定められます）。

2.2.8.座席

- それぞれのシャーシサプライヤーから供給されたオリジナルシートのみが合法です。

- 規則に従ってシートを取り付けるのはドライバー/参加者の責任です。

- シートの固定ネジとナットはすべて取り付けする必要があります。追加のシートステー

（サポート）は、シャーシに取り付けて締め付けるか、取り外す必要があります。フレームに溶接されたシートサポートは、シャーシによって許可されている場合を除き、曲げないでください。

- リードはシートにのみ取り付けてください。

2.2.9.車軸: それぞれのシャーシサプライヤーから供給されたオリジナルの後車軸のみを合法的に使用できます。

- リアアクスルを切断することは許可されていません。

- リアアクスルに何かを取り付けることは許可されていません。

- スタブアクスルの調整部分を覆ってはいけません。

2.2.10.スタビライザーとスリーブはシャーシに取り付けられて締め付けられるか、シャーシから取り外される必要があります。

2.2.11.ステアリングホイールは、メーカーが提供/指定する標準材質またはオプション材質を使用して、運転者の体格に合わせて任意の高さ位置に取り付けることができます。ステアリングシャフトは切断できません。

2.2.12.フロアトレイ: すべてのネジとナットは常に取り付けられ、締め付けられていなければなりません。

- データ収集センサーは、フロアトレイの固定ネジの1つに取り付ける必要があります。フロアトレイに穴を開けることは許可されていません。

- フットレストを取り外すことは許可された調整です。

2.2.13.リアバンパーの2つのサポートは常にフレームにしっかりと固定する必要があります。

2.2.14.グランドファイナルでは、シャーシメーカーから供給されたオリジナルのブレーキパッドのみの使用が認められます。

2.2.15.シャーシ製造元から供給されたリムを含む部品のみを使用できます。

2.2.16.法的オプション部分:

- 短いペダル。• 短いブレーキロッド。• 角度付きステアリングホイールボス。• 調整可能なステアリングホイールボス。

2.2.17.フロントフェアリング

a) CIK 特定規定第 31 条および CIK 技術図面番号 2.2 および 2.2.1 に従い、すべてのカテゴリにおいて、車体認証の認証済みフロント フェアリングおよび認証済みフロント フェアリング取り付けキットの使用が必須となります。

b) 適切なフェアリングと取り付けキットが各カートの参加者/ドライバーに提供され、使用できるコンポーネントのみ。

c) CIK一般規定第2.3.3条の取付、設置、点検、違反の報告および罰則の適用は全面的に適用されます。

2.3. タイヤ

2.3.1. タイプ:

125 ジュニア MAXドライ

Mojo D2XX CIK オプション フロント 4.5 x 10.0 – 5 ウェット Mojo W5 CIK フロント 4.5 x 10.0 – 5 125 シニア MAX

リア 7.1 x 11.0 – 5 リア

6.0 x 11.0 – 5

ドライ モジョ D5 CIK ブライム モジョ W5
CIK ウェット

フロント 4.5 x 10.0 – 5

フロント 4.5 x 10.0 – 5

リア 7.1 x 11.0 – 5 リア

6.0 x 11.0 – 5



TECHNICAL REGULATIONS

JUNIOR MAX | SENIOR MAX | DD2 | DD2 MASTERS

125 マックス DD2

ドライ	モジョ D5 CIK プライム	フロント 4.5 x 10.0 - 5	リア 7.1 x 11.0 - 5
濡れた	モジョ W5 CIK	フロント 4.5 x 10.0 - 5	6.0 x 11.0 - 5

125 MAX DD2 マスター

ドライ	モジョ D5 CIK プライム	フロント 4.5 x 10.0 - 5	リア 7.1 x 11.0 - 5
濡れた	モジョ W5 CIK	フロント 4.5 x 10.0 - 5	6.0 x 11.0 - 5

2.3.2. 各カテゴリーの数量

1. ドライタイ

- ・ ヤ :1セットは予選以外の練習走行用（パークフェルメ不可）で、もう1セットは予選から決勝まで（パークフェルメ不可）です。ただし、スチュワードは以下のいずれかを決定することができます。いつでも、1 つ以上のカテゴリーでタイヤをパークフェルメに保管することができます。

2. ウェットタイヤ：

- ・ 予選以外の練習走行（パークフェルメ以外）では、MOJO W5 CIKが最大1セット配布されます。状態）
- ・ 主催者は、予選で2セット目のMOJO W5 CIKを配布するかどうかを決定する権利を保持します。練習から決勝まで。このセットはパークフェルメに設置され保管されます。
- ・ イベント期間中、各カテゴリーで最大2セットまでご利用いただけます。配布は雨天時 3. タイ

ヤの分布と使用方法

- ・ シャーシ抽選会終了後、最初のスリックタイヤセットが配布されます。このセットは、レース中使用されます。予選以外の練習すべてを対象としたイベント。
- ・ 最初のセットの使用済みタイヤのうち、一定数（カテゴリーによって異なります）がパークフェルメに保管されます。* 非予選プラクティスの最終セッション終了後、各ドライバーに新しいスリックタイヤセットが配布されます。このタイヤは予選から決勝まで使用する必要があります。このセットの各タイヤには、バーコードとスタートナンバーが刻印されています。
- ・ 各ドライバーはスタートナンバーのマーキングが外側から見えることを確認する責任があり、そうでない場合は、再マーキングのためにタイヤをパークフェルメに提出する必要があります。
- ・ 雨が降る可能性が十分に高い場合は、ウェットタイヤ（MOJO W5 CIK）とホイールが時間通りに配布されます。これらのタイヤセットには、バーコードとスタートナンバーが刻印されています。
- ・ タイヤに機械的なトラブルが発生した場合、故意または誤用によるトラブルを除き、各ドライバーはフロントタイヤとリアタイヤ（ウェットタイヤとドライタイヤそれぞれ最大1本）を交換できます。タイヤに機械的なトラブルが発生した場合、車検員が、そのトラブルが材料の欠陥によるものか、故意または誤用によるものかを判断します。車検員の判断は最終的なものであり、抗議や上訴は認められません。
- ・ 障害が故意または誤用によって発生したものではない場合は、次のルールが適用されます。
 - o 全カテゴリーにおいて、予選外練習中または予選前には交換用タイヤが提供されます。予選ヒート、プレファイナル、決勝中は、摩耗率が同等の使用済みタイヤが交換用として提供されます。

2.3.3. すべてのタイヤにはバーコードが付けられており、指定されたドライバーのみが使用できます。

- ・ タイヤのバーコードステッカーが本物ではない、または改ざんされたことが証明された場合、ドライバーは除外されます。イベントから。
- ・ スタートサービスパーク入口では、車検員がバーコードステッカーをチェックします。バーコードステッカーが不正に改ざんまたは変更された疑いがある場合は、直ちにチーフ車検員に報告します。この時点から、チーフ車検員の最終決定があるまで、ドライバーとカートはスタートサービスパークへの立ち入りが禁止されます。
- ・ 予選練習またはレース後のスポーツチェックで、カートのタイヤにオリジナルではないバーコード ステッカーが 1 枚貼られていることが発覚した場合、そのカートは失格となります。* スタート サービス パークの入口で、イベントに割り当てられたタイヤと異なるタイヤを 1 つ以上装着したカートを提示したドライバーは、正しいタイヤを装着したカートを提示し、イベントの公式タイム スケジュールで定められた、グループがスタート サービス パークにアクセスするための規定時間内である限り、入場を許可されません。

2.3.4. タイヤはドライバーに割り当てられ（イベント期間中の貸与ベース）、登録され、Rotax EMS（イベント管理システム）によって定期的にチェック/スキャンされます。



TECHNICAL REGULATIONS

JUNIOR MAX | SENIOR MAX | DD2 | DD2 MASTERS

2.3.5. タイヤの改造や化学処理は一切禁止されます。「タイヤスニフアー」Mini-RAE-Liteによるタイヤチェック : 最大値は4ppmです。この値を超えた場合は2回目のチェックが行われます。値が4ppmを超えたままの場合、ドライバーはイベントから失格となります。

2.3.6. タイヤはタイヤに定められた回転マークに従って取り付けなければなりません。

2.4. エンジン

- すべてのエンジンには、固有のシリアル番号 (バーコード) が付いたエンジン シールが貼られています。
- エンジンはドライバーにランダムに割り当てられ (イベント期間中の貸与ベース)、登録され、Rotax EMS (イベント管理システム)によって定期的に点検/スキャンされます。必須設定、許可される調整、およびオプションパーツは、RMCGFテクニカルレギュレーション2025およびその付録に定義されています。
- エンジンシール以外のすべての部品については、競技者は以下の基準に適合していることを確認する責任がある。
RMCGF 技術規則 2025 およびその付録。
- イベント中、ドライバー/参加者がシールを切断したり、操作したり、
エンジンおよび/またはキャブレターが故障した場合、イベントから失格となります。

2.5. 機器の返却

- イベント終了時にドライバーは時間に関する情報に従って機器を返却しなければなりません。
組織によって定義された機器の返却場所と返却手順。
- 機器は納品時と同じ動作状態で返却する必要があります。すべての機器は完全に返却前に清掃してください。清掃しない場合は 200 ユーロの手数料が請求されます。
- エンジンまたは付属品、工具箱、台車の破損または紛失した部品については、その代金を支払う必要があります。
- シャシの損傷した部分については、その費用を弁償していただく必要があります。
- 主催者 (ロータックスおよびシャシサプライヤー) が指名した担当者が、
運転手に渡される資材を徹底的に管理します。

2.6. データ取得

以下のデータのみの読み取り/記録を許可するシステムが許可されます。

- ラップタイム
- エンジン回転数 (高圧ケーブルの誘導による)
- エンジン冷却水温度 (シリンダーヘッドに取り付けられたセンサーM10x1)
- 片方の車輪の速度
- X/Y方向の加速度
- 位置 (GPSシステム経由)
- データ収集システムを Rotax エンジン バッテリーに接続することは許可されます。

ROTAX TRAX デバイスはイベント期間中いつでも使用できます。

乗車位置は自由ですが、大会の主任検査官の基準を満たす必要があります。

TRAX デバイスは Rotax エンジン バッテリーにのみ接続する必要があり、このデバイスに追加のバッテリーを接続することはできません。

TRAXデバイスをROTAXバッテリーに固定するためにROTAX TRAX 3Dプリンターマウントを使用することが許可されています。
カバー。

2.7. 安全装置

CIK-FIA技術規則第7条に準拠。

2.8. 燃料/オイル

イベント期間中、事前に混合された燃料がパルクフェルメから提供されます。

2.9. エンジン上の広告

エンジンおよびエンジンアクセサリに、ROTAX、BRP、MOJO、XPS以外のスポンサーステッカーを貼ることはできません。



TECHNICAL REGULATIONS

JUNIOR MAX | SENIOR MAX | DD2 | DD2 MASTERS

3. 変更、法的追加、非技術的項目、測定 3.1. 変更

- エンジンおよびその付属部品は、いかなる形でも改造してはなりません。「改造」とは、形状、内容、または機能の変更によって、当初の設計とは異なる状態になることを指します。これには、本規則で特に許可されている場合を除き、エンジンパッケージアセンブリへの部品および材料の追加および／または省略が含まれます。キャブレターや排気バルブの調整ネジなど、その目的のために特別に設計された部品の調整は、改造とはみなされません。
- 特に指定がない限り、125 Junior MAX、125 Senior MAX、および 125 MAX DD2 エンジン用に特別に設計および供給されている純正 ROTAX コンポーネントのみが合法です。
- RMCGF テクニカル レギュレーション 2025 で明示的に許可されていないものはすべて禁止されます。

3.2. 法的追加事項

エンジン冷却水（水）の温度センサー。

ROTAX TRAX デバイスと ROTAX TRAX 3D プリント マウントは、次の場所から入手できます: https://www.rotax-racing.com/assets/images/TRAX/3d_print_files/ROTAX_TRAX_MOUNT.zip

3.3. 測定

以下の技術規制に従って、0.10 mm 単位またはそれ以上の精度で寸法を測定する場合、部品の温度は +10°C ~ +30°C である必要があります。

4. ROTAX KARTの技術仕様（エンジンおよびキャブレターシールの外側） エンジン

125 ジュニア MAX、125 シニア MAX、125 MAX DD2

エンジンとキャブレターシール以外のすべてのコンポーネントについては、競技者は RMCGF 技術規則 2025 への適合を保証する責任があります。

イベント中は常に、最低 50ml のギア オイルをサンプリングできる必要があります。

オイルは必ず供給されたまま使用し、ギアオイルを別のブランドに交換することは許可されていません。

この目的のために、測定されたオイルは最大 1 分以内にポートから抽出する必要があります。

4.1. バランスドライブ

125 ジュニア MAXと125 シニア MAX

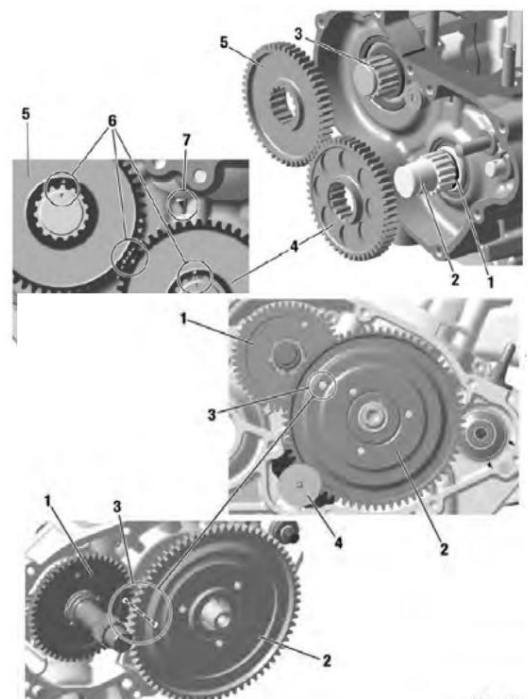
使用できるのはスチール製バランスギア（最小幅 = 8.8 mm）のみです。

バランスギアは図に従って設置し、位置合わせする必要があります。

125 マックス DD2

バランスギア（1）はプライマリーシャフトに取り付けられ、図に従ってバランスドライブギア（2）と位置合わせされている必要があります。

ベアリングを含む乾燥バランスギア（1）の最小重量は 255グラム以上でなければならない。



KA_125_DD22



TECHNICAL REGULATIONS

JUNIOR MAX | SENIOR MAX | DD2 | DD2 MASTERS

4.2. 遠心クラッチ

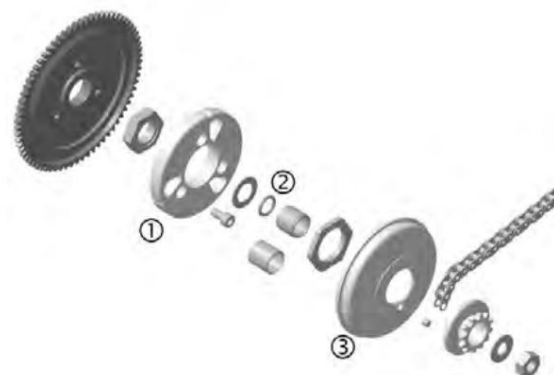
125 ジュニア MAXと125 シニア MAX

遠心クラッチの接続速度は最大 4,000 rpm です (ドライバーのいないカートは動き始める必要があります)。

クラッチ (1)には「ROTAX」の文字が表示されている必要があります。

Oリング (2)を取り付ける必要があります。

クラッチドラム (3)には「ROTAX」の文字が表示されている必要があります。



ニードル/プレーンベアリングからクラッチドラムへのグリースまたは物質の放出の兆候は、写真に示すものを超えてはなりません。

クラッチとクラッチドラムの接触面は常に乾燥していなければならない。
許可された。



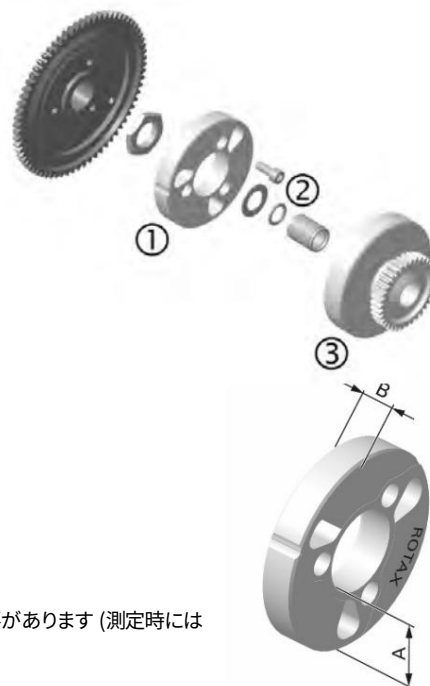
125 マックス DD2

遠心クラッチの接続速度は最大 4,000 rpm です (ドライバーのいないカートは動き始める必要があります)。

クラッチ (1)には「ROTAX」の文字が表示されている必要があります。

Oリング (2)を取り付ける必要があります。

駆動ギア付きクラッチドラム (3)には「ROTAX」の文字が表示されている必要があります。



クラッチ

クラッチの高さ (B)

125 ジュニア MAXと125 シニア MAX:

最小 = 11.45 mm

125 マックス DD2:

最小 = 14.45 mm

クラッチシューの厚さ (A)

最小 = 24,10 mm

測定は、クラッチの 3 つの開いた端で、機械加工された溝から 5 ~ 10 mm 離れたところで行う必要があります (測定時にはすべてのクラッチ シューが完全に閉じている必要があり、隙間がないようにしてください)。

Sponsored by

MOJO

XPS

BELL

SODI

birelART

CHARLES LECHE

Peaga

FERMILUX

DELIGHT

THE

© 2024 BRF-Rotax GmbH & Co KG. All rights reserved. ® and TM and the BRF logo are trademarks of Bombardier Recreational Products Inc. or its affiliates. All other trademarks are the property of their respective owners.

7月21日





TECHNICAL REGULATIONS

JUNIOR MAX | SENIOR MAX | DD2 | DD2 MASTERS

クラッチドラム (125 ジュニア MAX、125 シニア MAX、125 MAX DD2)

クラッチドラムの外径 (C) 最小値 = 89,50 mm

直径は、肩部から半径のすぐ横にあるスライディング キャリパーを使用して測定する必要があります (クラッチ ドラムの開いた端ではありません)。

クラッチドラムの内径 (D)

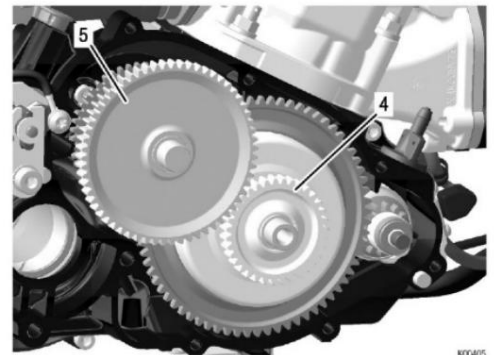
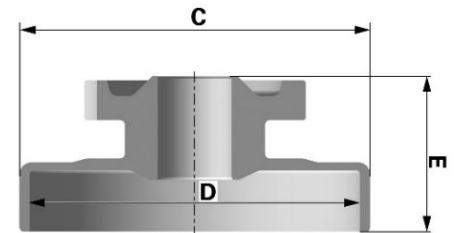
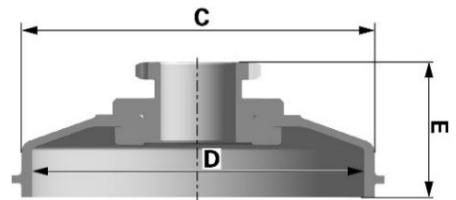
最大 = 84,90 mm

直径はスライド式ノギスで測定する必要があります。測定はクラッチドラムの中央 (クラッチとクラッチドラムの接触領域)で行う必要があります。

クラッチドラムとスプロケット/プライマリーギアの高さ (E) :125ジュニア

MAXおよび125シニアMAX - 最小 = 33,90 mm

125 MAX DD2 - 最小 = 39,50 mm



4.3. プライマリドライブ (125 MAX DD2) :オリ

ジナルのRotaxプライマリドライブギア (4+5)のみを使用してください。

4.4. ギアシフト (125 MAX DD2)

2 速ギアボックスは、オリジナルの Rotax パドル シフト システムを介してステアリング ホイールから操作する必要があります (図を参照)。

オリジナルのアルミシフトパドル (30)を切断したり、オリジナル以外の部品を追加したりすることは許可されていません。

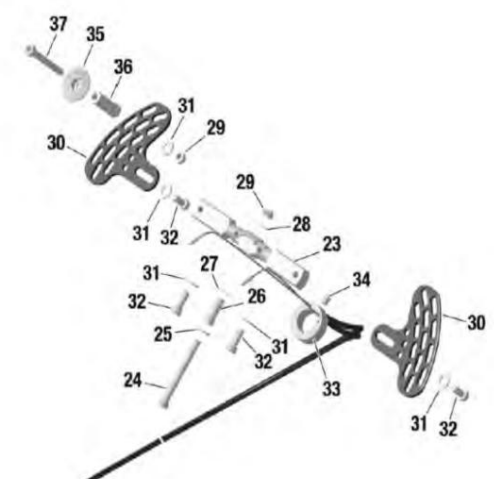
シフトパドル (30)をホイップ (23)の下部または上部に取り付けることは、許可される調整である。

オプションパーツ (35 ~ 37)はシフトパドル (30)の任意の位置に取り付けることができる。

アルミニウムのシフトパドルを曲げてステアリングホイールに合わせることは、許可された調整です。

ウィップ (23)は、短距離移動用と長距離移動用のケーブル (23)を両側に2つずつ接続する。どちらの接続も合法的に使用できる。

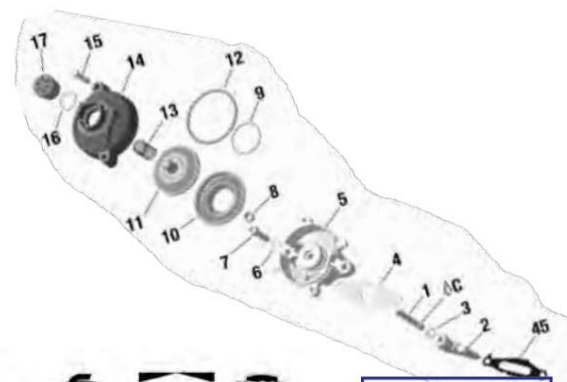
鞭 (23)へのケーブルの接続を左から右へ、右から左へ変更することは、許可される調整である。



4.5. 排気バルブ (125 Senior MAXおよび125 MAX DD2)

システムは、シリンダー保護プレート (45)を除くすべてのコンポーネントを図に示すように取り付けられた状態で使用する必要があります。

ベローズ (10)は緑色でなければなりません。



Sponsored by

MOJO

XPS

BELL

SODI

birelART

CHARLES LECURE

Peaga

FERMILUX

DELIVERY

THE

© 2024 BRF-Rotax GmbH & Co KG. All rights reserved. ® and TM and the BRF logo are trademarks of Bombardier Recreational Products Inc. or its affiliates. All other trademarks are the property of their respective owners.

8/21/25





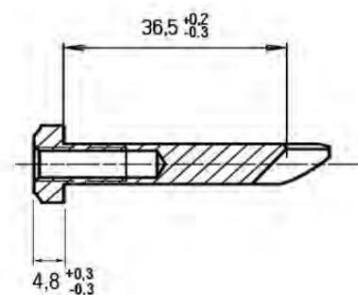
TECHNICAL REGULATIONS

JUNIOR MAX | SENIOR MAX | DD2 | DD2 MASTERS

排気バルブ

排気バルブの長さ（項目2） $36.5 \text{ mm} +0.20 \text{ mm} / -0.30 \text{ mm}$ 。

襟の幅: $4.8 \text{ mm} +/ -0.3 \text{ mm}$

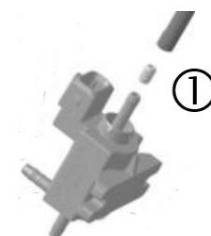


シリンダーの排気バルブフランジからピストンまでの距離

1. ピストンが排気ポートを完全に閉じるまでクランクシャフトを回します。
2. 図に示すように、排気バルブゲージ（Rotax 277032）をフランジに止まるまで挿入します。
3. ゲージの端から排気ストッパー面までの長さを測ります。
バルブ。
4. 測定は両側（上部と下部）で行う必要があります
5. 測定値は25.0mmを超えてはなりません。



電磁弁に接続された圧力ホース内の元のインパルスノズル (1)の使用は許可されていません。



電子タイミング排気バルブには、排気バルブの開き方に 2 つの異なる設定 (A または B) があります。

(A) ...追加のアースケーブルが接続されていない

(B) ...追加のアースケーブルが接続されています。どちら

の設定も使用可能です。



4.6. 点火システム

Dellorto デジタル バッテリー点火システム、可変点火タイミング、調整不可。

スパークプラグキャップ

「ROTAX」のマーク、赤色（画像参照）



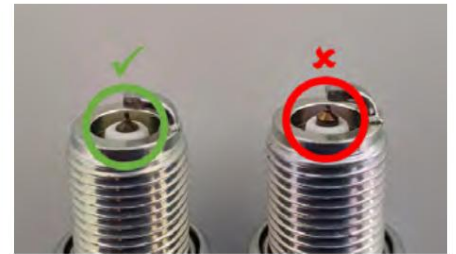


TECHNICAL REGULATIONS

JUNIOR MAX | SENIOR MAX | DD2 | DD2 MASTERS

スパークプラグ

すべてのカテゴリーにおいて、NGK GR8DIは指定された用途のみ使用できます。写真では緑色の円でマークされています。赤い丸でマークされた延長電極付きのアフターマーケット部品の使用は固く禁じられています。

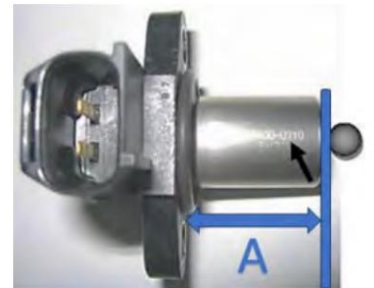


イグニッションセンサー

ピックアップのマーキングには、最初の行に次の番号が表示されている必要があります029600-0710。

センサーの円形表面に置かれた鋼球 (直径 3 ~ 5 mm) は、円形表面の中央に留まらなければなりません。

図(A)に定義されるシール面からピックアップ端までの長さは26.3mmを超えてはなりません。測定はガスケットを取り外した状態で行ってください。シール面に研磨や材料除去の痕跡が見られることは厳禁です。



センサーとクランクケースの間に追加のガスケットを取り付けることはできません。

点火コイル (およびマグネットバルブ - 125 Senior MAX と 125 MAX DD2 のみ) は、以下の図に従ってすべてのコンポーネントに取り付ける必要があります。

取り付けブラケット (125 Junior MAX および 125 Senior MAX のみ) がシャーシ コンポーネントと競合する場合は、取り付けブラケットとギアボックス カバーの間に最大厚さ 20 mm のスペーサーを取り付け穴ごとに 1 つずつ追加できます。

125 ジュニア MAXと125 シニア MAX



125 マックス DD2





TECHNICAL REGULATIONS

JUNIOR MAX | SENIOR MAX | DD2 | DD2 MASTERS

点火コイルの外観は写真と一致している必要があります。

点火コイルの端子には 2 つのピンが必要です。

点火コイルには、「BRP 666820」と「NIG 0105」という 2 つのステッカーが貼られています。

片方または両方のステッカーが消えた場合でも、イグニッションコイルは引き続き合法的に使用できます。

点火コイルの高圧ケーブルの最小長さは 210 mm です (点火コイルの出口からスパークプラグコネクタの出口まで = ケーブルの目に見える長さ)。



電子制御ユニット (ECU)にはステッカーが貼られており、ステッカーが判読不能または消えている場合でも合法です。

125 ジュニア MAX: 「666813」

125 シニア MAX: 「666815」

125 MAX DD2: 「666816」

ECU は、以下の手順に従って ECU テスター (Rotax 部品番号 276230) でチェックする必要があります。

エンジン ケーブル ハーネスを ECU から外します。

ECU テスター ケーブル ハーネスを ECU に接続します。

ECU テスター ケーブル ハーネスのエネルギーター ケーブルをエンジン ケーブル ハーネスの充電コネクタに接続します。

バッテリーに接続するたびに、ECU テスターのソフトウェア バージョンが約 2 秒間ディスプレイに表示されます。

ディスプレイに表示されるソフトウェア バージョンは 2V00 である必要があります。

ECU テスターのボタン「ü」を押してテストを開始します。

約 3 秒後、実際にテストされている ECU のタイプがディスプレイの 2 行目に表示されます。

約 30 秒後、テストの結果がディスプレイの最初の行に表示されます。

ECU テスターは次の結果を示す必要があります。

125 ジュニアMAXカテゴリー
666813JNRMAX!!テストOK!!

125 シニア MAX カテゴリー
666815MAX
!! テストOK!!

125 MAX DD2カテゴリー
666816MAXDD2
!! テストOK!!





TECHNICAL REGULATIONS

JUNIOR MAX | SENIOR MAX | DD2 | DD2 MASTERS

4.7. バッテリー、バッテリーの固定

以下の仕様の純正バッテリーを使用する必要があります。

a、YUASA YT7B-BS (「ROTAX」ブランド付き)が付属。

b、ドライバーが重量制限を超えている場合 (カートに鉛のバラストを積んではならない)にのみ、ドライバーは自分で用意したROTAX RX / -12BまたはRX7-を使用することができます。

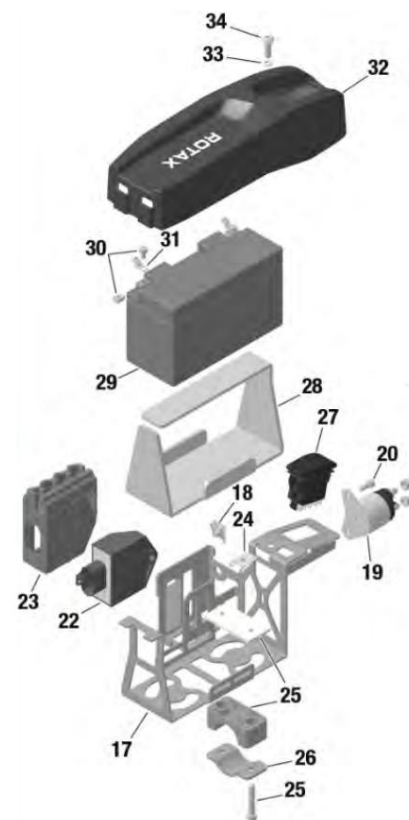
イベント期間中は12LまたはROTAX LiFeP04 (リン酸鉄リチウム型)。

注意: このようなバッテリーには正しい充電器を使用することが重要です。

ROTAX はイベントでリチウム充電器やリチウム電池を提供しませんので、競技者の責任となります。

バッテリーは、元のバッテリー クランプとバッテリー カバーを使用して (下の図に従って) シートの左側に取り付ける必要があります。

バッテリークランプ (17)は、2つのクランプ (25-26)と4本のネジ (25)を使用してシャーシに固定する必要があります。



4.8. 吸気サイレンサー

a) 125 ジュニア MAXと125 シニア MAX

• 吸気サイレンサーは、図面に示されているすべての部品と一緒に使用する必要があります。

図に示すように、2本のネジを使用してサポート ブラケットに取り付ける必要があります (乾燥状態および湿潤状態)。

• 吸気サイレンサーチューブ (2)とキャブレターソケット (6)には「ROTAX」の刻印があります。

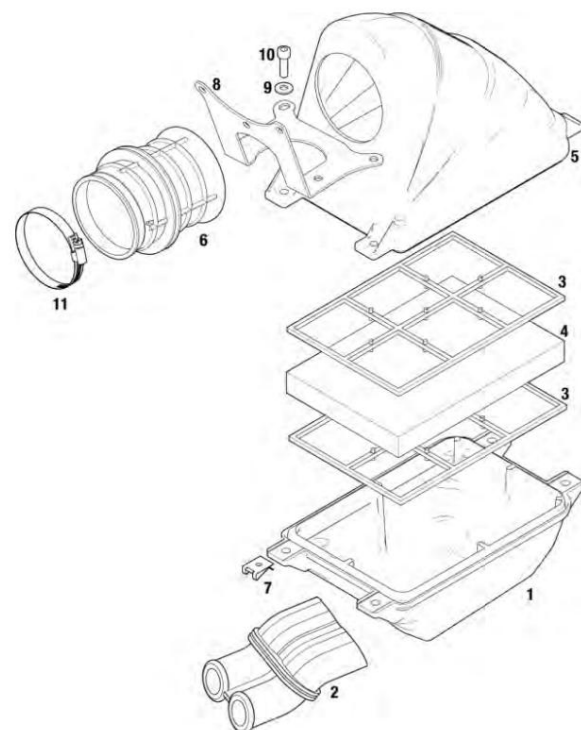
• 下部吸気サイレンサーケース (1)の内側には、「225015」。

• 上部吸気サイレンサーケース (5)の内側には、「225025」。

• エアフィルターは2層構造になっており、「Twin Air」と表示されています。

• エアフィルター (4)は、図に示すように2つのホルダー (3)の間に設置し、下部の吸気サイレンサーケース (1)の領域全体をカバーする必要があります。

• 濡れた状態 (および乾いた状態)では、空気取り入れ口を水しぶきから保護するためにエアボックスに何かを取り付けることはできません。



Sponsored by

#MOJO

XPS

BELL

SODI

birelART

CHARLES LECHE

Praga

PRAMULAK

DELLORTO

TRUCK

© 2024 BPP-Rotax GmbH & Co KG. All rights reserved. ® and TM and the BPP logo are trademarks of Bombardier Recreational Products Inc. or its affiliates. All other trademarks are the property of their respective owners.

12月21日



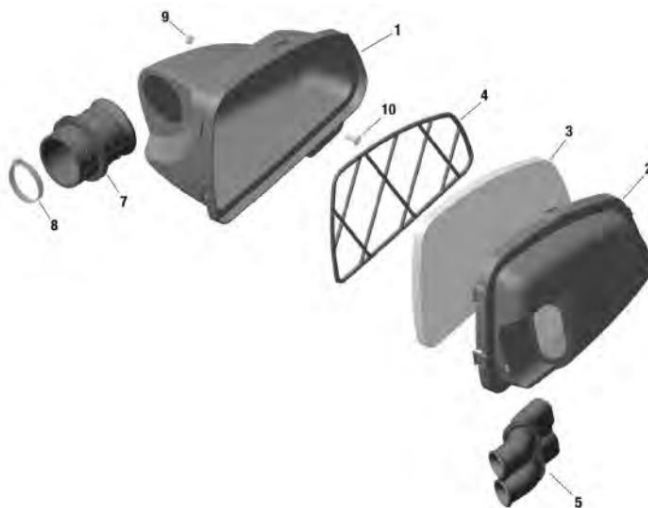


TECHNICAL REGULATIONS

JUNIOR MAX | SENIOR MAX | DD2 | DD2 MASTERS

b) 125 マックス DD2

- 吸気サイレンサーは、すべての部品と一緒に使用する必要があります。
図に示されています。
- 吸気サイレンサーケース (1)の内側には「225013」の刻印があります。
 - 吸気サイレンサー
- カバー (2)の内側には「225023」の刻印があります。



- エアフィルター (3)は別体のプラスチックフレーム (4)と併用してください。吸気サイレンサーチューブ (5)とキャブレターソケット (7)には「ROTAX」のマークが付いています。
- エアフィルターは、吸気サイレンサーケースと吸気サイレンサーカバーの間に組み付け、吸気サイレンサーケース全体が覆われるようにする必要があります。
- 濡れた状態 (および乾いた状態)では、空気取り入れ口を水しぶきから保護するためにエアボックスに何かを取り付けることはできません。

4.9. キャブレター

- すべてのキャブレターには、固有のシリアル番号 (バーコード)が刻印されています。• キャブレターは、登録されたドライバーにランダムに割り当てられます (イベント期間中の貸出ベース)。
- Rotax EMS (イベント管理システム)によって定期的にチェック/スキャンされます。
- キャブレタースライドには製造時に数字「45」が表示されている必要があります。
- ジェットニードルには「K57」の刻印が必要です。ジェットニードルの位置は自由です。
- キャブレター調整ネジ (アイドルおよびアイドルエア)の設定は自由です。
- すべてのジェットは常に正しく装着され、しっかりと固定されている必要があります (締め付けられている)。
- キャブレターハウジングの吸気孔全体に錆肌が見えるようにしてください。• キャブレターインサートのベンチュリー穴には、CNC制御加工の痕跡が見られる場合があります。
- 2つの通気口フィッティングは、元の通気口ホースで互いに接続する必要があります。最小長さ = 155mm。
- ベントホースの通気口はキャブレターの後ろ側に配置する必要があります。• 主催者/技術検査員は、キャブレターまたは部品を検査および交換する権利を有します。
- イベント中いつでもそのコンポーネントを変更できます。

4.10. 燃料ポンプ、燃料フィルター

- 125 ジュニア MAX - MIKUNI ダイアフラム ポンプを使用し、供給されたとおりに取り付ける必要があります。
- 125 Senior および 125 DD2 - Dellorto 燃料ポンプを使用し、供給されたとおりに取り付ける必要があります。

a) 125 ジュニア MAXと125 シニア MAX

燃料ポンプは、吸気サイレンサーのサポートブラケットの下側に取り付ける必要があります。



b) 125 マックス DD2

燃料ポンプは、付属の元のサポート ブラケットに取り付ける必要があります。



TECHNICAL REGULATIONS

JUNIOR MAX | SENIOR MAX | DD2 | DD2 MASTERS

燃料フィルター

純正燃料フィルター（図参照）のみの使用が合法です。燃料フィルターは燃料タンクと燃料ポンプの間に取付ける必要があります。

燃料ライン、燃料ポンプ、および元の燃料フィルターを除き、燃料タンクとキャブレターの間に追加部品を取り付けることは合法ではありません。



4.11. ラジエーター

ラジエーターは、それぞれの図に示すようにすべてのコンポーネントを取り付ける必要があります。

ラジエーターの周囲にテープ（広告のない中立テープのみ）を貼ることは、ラジエーターを通る空気の流れを制御するための許可された改造です。

サーキット走行中はラジエーターからテープを取り外すことはできません。

ラジエーターを通る空気の流れを制御するその他の非オリジナルデバイスは禁止されています。

a) 125 ジュニア MAXと125 シニア MAX

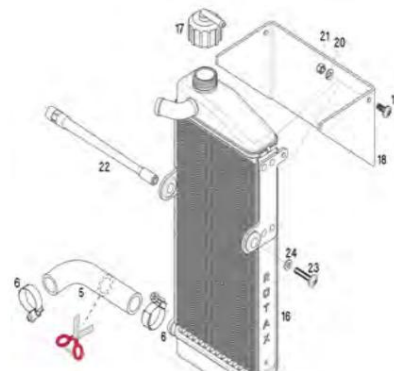
ラジエーターはエンジンの右側に取り付ける必要があります。

冷却エリア : 高さ = 290 mm、幅 = 138 mm

ラジエーターの厚さ : 34 mm

ラジエーターの側面には「ROTAX」の刻印がなければなりません。

オリジナルのフラップを取り外すことは許可されていません。



b) 125 マックス DD2

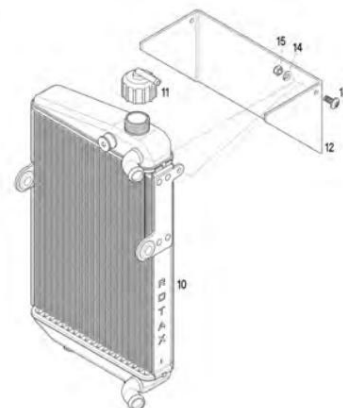
ラジエーターはシートの横の左側に取り付ける必要があります。

キャップ付きラジエーターの最高点は、カート シャーシのメイン チューブより 400 mm より高くはなりません。

冷却エリア : 高さ = 290 mm、幅 = 196 mm

ラジエーターの厚さ : 34 mm

オリジナルのフラップを取り外すことは許可されていません。



4.12. エンジン冷却水

添加物が入っていない普通の水を使用する必要があります。

4.13. 排気システム

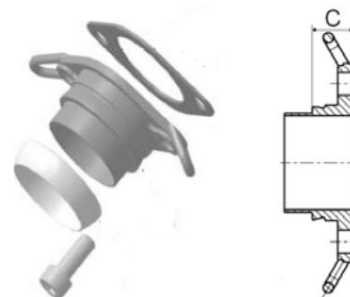
4.13.1. 排気ソケット

125 ジュニア MAX、125 シニア MAX、125 MAX DD2測定値 (C) は少なくとも 15.5 mm である必要があります。

排気システムを排気ソケットに固定するために、最小 2 個、最大 4 個の純正 Rotax 排気スプリングの使用が許可されます。

サイレンサーを排気システムに固定するために、最小 2 個、最大 4 個のオリジナルのロータックス排気スプリングの使用が許可されます。

排気システムを排気ソケットに固定するために「安全ワイヤー」を使用することは許可されていません。



Sponsored by

#MOJO

XPS

BELL

SODI

birelART

CHARLES LECHE

Praga

PRAMIAK

DELLORTO

TRIO

© 2024 BPP-Rotax GmbH & Co KG. All rights reserved. ® and TM and the BPP logo are trademarks of Bombardier Recreational Products Inc. or its affiliates. All other trademarks are the property of their respective owners.



TECHNICAL REGULATIONS

JUNIOR MAX | SENIOR MAX | DD2 | DD2 MASTERS

4.13.2. サイレンサー付き排気管

許可される変更:

- サイレンサーエンドキャップの元のリベットを、4mmメトリックネジと対応するロックナットに交換します。3つの固定部（リベット、ボルト、ロックナット）は常にしっかりと締め付け、穴あきチューブと排気システム間の密閉性を確保する必要があります。穴あきチューブは排気システムに完全に挿入する必要があります（右上の写真を参照）。穴あきチューブの外側のシーリングリングが外部に突出することは禁止されています。（赤い矢印で示されています）
- サイレンサー内のオリジナルの遮断マットを新しいオリジナルの遮断マット 1 枚に交換します。マットは、穴あきチューブの全長にわたって完全に巻き付けて、意図したとおりに設置する必要があります。

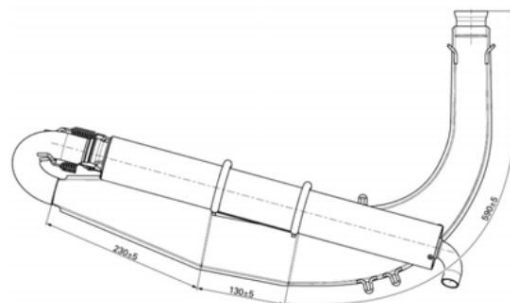


a) 125 ジュニア MAXと125 シニア MAX

- サイレンサーは、90°エルボ出口の方向（高温の排気ガスの方向）がシャーシのどのコンポーネントにも害を及ぼさない位置に取り付ける必要があります。
- 確認すべき寸法:
 入口コーンの長さ: 590 mm +/- 5 mm
 排気管の円筒部の長さ: 130 mm +/- 5 mm
 エンドコーンの長さ: 230 mm +/- 5 mm

125 ジュニアおよび 125 シニア MAX で合法的な唯一のアイソレーション マットは次のとおりです。
 ROTAX部品番号297982

新しいサイズ最小480 x 270mm (+/-10mm)
 新しい重量 207gr (176g - 238g)
 使用重量最小140g
 使用重量最大350g



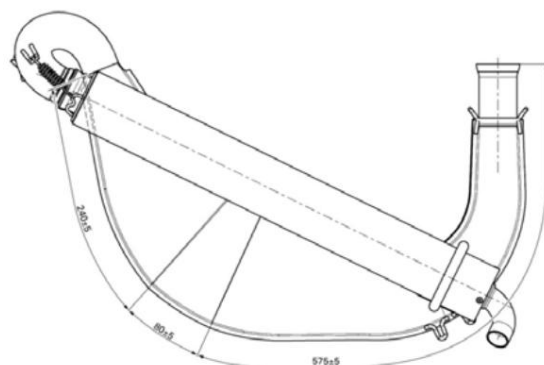
b) 125 マックス DD2

- サイレンサーは、90°エルボ出口（高温の排気ガスの方向）がシャーシのどの部品にも損傷を与えない位置に取り付ける必要があります。確認すべき寸法:

入口コーンの長さ: 575 mm +/- 5 mm
 中央部分の長さ: 80 mm +/- 5 mm
 エンドコーンの長さ: 240 mm +/- 5 mm

125 DD2 MAX に合法的な唯一の絶縁マットは次のとおりです。
 ROTAX部品番号297982

新しいサイズ最小480 x 270mm (+/-10mm)
 新しい重量 207gr (176g - 238g)
 使用重量最小140g
 使用重量最大350g





TECHNICAL REGULATIONS

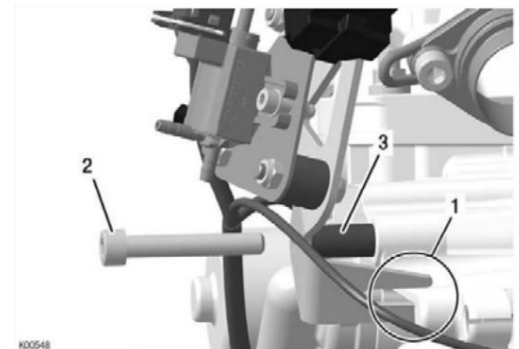
JUNIOR MAX | SENIOR MAX | DD2 | DD2 MASTERS

4.14. 追加シートサポート (125 MAX DD2)

エンジン側には、最大 1 つの追加シート サポートを使用できます。

追加シートサポートは、六角穴付きボルト (2) を使用してエンジンに固定する必要があります。このため、ディスタンススリーブ (3) を取り外すことができます。

DD2カテゴリーでは、エンジン側のシートサポートは、
下図のように取り付けてください。ユニボールジョイントは常にエンジンに接続したままにしてください。



Sponsored by

#mojo

XPS

BELL

SODI

birelART

CHARLES LECHE

Praga

PRAMULAK

DELLORTO

TRIPOLI

© 2024 BPP-Ribax GmbH & Co KG. All rights reserved. ® and TM and the BPP logo are trademarks of Bombardier Recreational Products Inc. or its affiliates. All other trademarks are the property of their respective owners.



TECHNICAL REGULATIONS
JUNIOR MAX | SENIOR MAX | DD2 | DD2 MASTERS

5. シャーシ、エンジン、キャブレター、ドライブトレインオプションの許可された調整

I. 125 ジュニア MAX – プラガ by IPKarting

番号	項目	仕様
1	フリープラクティス1回目ではキャブレターとギアリングが必須です。	130 メインジェットを取り付ける必要があります。 フロントスプロケット13歯、リアスプロケット74歯。
2	2回目のフリープラクティスまでのキャブレターとギアリングオプション 決勝戦	付属のキットのメインジェットはどれでも使用できます。 (125、126、127、128、129、130、131、132、133、134) フロントスプロケット13または（12歯、ウェットタイヤとの組み合わせのみ） リアスプロケット73、74、75歯。
3	スパークプラグの種類とギャップ	NGK GR8DI。ピンゲージ1.00 mmは2つの電極の間に収まらない必要があります。
4	チェーンの長さの種類	イベントで製造元から供給されたチェーンのみ使用できます。チェーンの長さは 104 です。
5	車高	フロント :すべての設定が可能 リア :すべての設定が可能
6	キャンバーとカスター	キャンバー :すべての設定が可能 カスター :0、0.5、1、2度調整可能。調整はすべて上部カスターピルを使用して行ってください。下部カスターは標準状態のままにしてください。
7	アッカーマン設定	すべての設定が許可されます
8	シートサポート	使用できるのは、左用オプション シート サポート 1つと右用オプション シート サポート 1つだけです。
9	シート固定	すべての固定具はしっかりと固定する必要があります。IPKが提供するシートプレートを、シートとすべてのサポートの間に取り付ける必要があります。
10	3番目のベアリング	固定具を取り外し、2 本のケーブル タイで固定することができます。
11	リアバンパー	水平方向ではなく垂直方向への移動が許可されます。
12	オプションパーツ	調整可能なステアリングホイールハブまたは1ピースハブ。傾斜した追加プレート、調整可能なフットレストシステム、シートサイドプロテクションキット。

2回目の非予選練習からROTAXはジェット126、ニードル位置4を推奨します。
0.65 mmのスパークプラグギャップと55°Cのエンジン温度

注意: RMC GF 技術規則 2025 およびその付録に従って、特定の 카테고리向けにメーカーがイベントで供給した標準コンポーネントのみを使用できます。





TECHNICAL
REGULATIONS
JUNIOR MAX | SENIOR MAX | DD2 | DD2 MASTERS

II. 125 シニア MAX - ソディカート

番号 項目	仕様
1	フリープラクティス1回目ではキャブレターとギアリングが必須です。 130 メインジェットを取り付ける必要があります。 フロントスプロケット13歯、リアスプロケット76歯。
2	2回目のフリープラクティスまでのキャブレターとギアリングオプション 決勝戦 付属のキットのメインジェットはどれでも使用できます。 (125、126、127、128、129、130、131、132、133、134) フロントスプロケット13または（12歯、ウェットタイヤとの組み合わせのみ） リアスプロケット75、76、または77歯。
3	スパークプラグの種類とギャップ NGK GR8DI。ピンゲージ1.00 mmは2つの電極の間に収まらない必要があります。
4	チェーンの長さの種類 イベントで製造元から供給されたチェーンのみ使用できます。チェーンの長さは 104 です。
5	車高 フロント :すべての設定が可能 リア :すべての設定が可能
6	キャンバーとキャスト ポジションフリー
7	アッカーマン設定 ステアリングコラム :3ポジション スタブ アクスル: 外側のみ。オブ
8	シートサポート ションのシート サポートは左 1 個と右 1 個のみ使用できます。
9	シート固定 すべての固定はしっかりと固定する必要があります。
10	その他の注意事項 サイドポッドバーは常にしっかりと固定する必要があります。
11	オプションパーツ ペダルキットは2種類。ステアリングボスは角度付き。8度の角度のプラスチックシムを1枚 追加できます。

2回目の非予選練習からROTAXは、ジェット128、ニードル位置4、
0.65mmのスパークプラグギャップと55°Cのエンジン温度

注意: RMC GF 技術規則 2025 およびその付録に従って、特定のカテゴリ向けにメーカーがイベントで供給した標準コンポーネントのみを使用できます。





TECHNICAL REGULATIONS
JUNIOR MAX | SENIOR MAX | DD2 | DD2 MASTERS

III. 125 MAX DD2 – ビレルART

番号	項目	仕様
1	フリープラクティス1回目ではキャブレターとギアリングが必須です。	134 メインジェットを取り付ける必要があります。 ギア比設定 36/61 注意 :正しいメインジェットを取り付ける必要があります
2	2回目のフリープラクティスまでのキャブレターとギアリングオプション 決勝戦	付属のキットのメインジェットはどれでも使用できます。 (128、129、130、131、132、133、134、135、136、137、138) ギア比セット (36 / 61) 、 (35 / 62) 、または (ウェットタイヤとの組み合わせで34 / 63)
3	スパークプラグの種類とギャップ	NGK GR8DI。ピンゲージ1.00 mmは2つの電極の間に収まらない必要があります。
4	車高	フロント :供給時 (中央)またはシャーシ高 リア :供給時 - 調整不可
5	キャンバーとキャスター	0、0.5、1、2度調整可能。すべての調整が可能です。(2度または1.5度のキャスターは1キットのみ使用可能です)
6	アッカーマン設定	2つのポジションすべてが許可されます
7	シートサポート	上部の取り付けは常にしっかりと締める必要がありますが、前部の下部サポートは緩めることができます。
8	シート固定	上部の取り付けは常にしっかりと締める必要がありますが、前部の下部サポートは緩めることができます。
9	リアバンパー	水平方向ではなく垂直方向への移動が許可されます。
10	その他の注意事項	ステアリングコラム520mmまで許容
11	オプションパーツ	ステアリングプレート2番

2回目の非予選練習からROTAXは、ジェット132、ニードル位置4、
0.65mmのスパークプラグギャップと55°Cのエンジン温度

注意: RMC GF 技術規則 2025 およびその付録に従って、特定のカテゴリー向けにメーカーがイベントで供給した標準コンポーネントのみを使用できます。





TECHNICAL
REGULATIONS

JUNIOR MAX | SENIOR MAX | DD2 | DD2 MASTERS

IV. 125 MAX DD2 マスターズ – バリチェロカート

番号	項目	仕様
1	フリープラクティス1回目ではキャブレターとギアリングが必須です。	134 メインジェットを取り付ける必要があります。 ギア比設定 36/61 注意 :正しいメインジェットを取り付ける必要があります
2	2回目のフリープラクティスまでのキャブレターとギアリングオプション 決勝戦	付属のキットのメインジェットはどれでも使用できます。 (128,129,130,131,132,133,134,135,136,137,138) ギア比セット (36 / 61) 、 (35 / 62) 、または (ウェットタイヤとの組み合わせで34 / 63)
3	スパークプラグの種類とギャップ	NGK GR8DI。ピンゲージ1.00 mmは2つの電極の間に収まらない必要があります。
4	車高	フロント :供給時 (中央)またはシャーシ高 リア :供給時 - 調整不可
5	キャンバーとキャスター	0.0.5,1,2度調整可能。すべての調整が可能です。(2度または1.5度のキャスターは1キットのみ使用可能です)
6	アッカーマン設定	2つのポジションすべてが許可されます
7	シートサポート	上部の取り付けは常にしっかりと締める必要がありますが、前部の下部サポートは緩めることができます。
8	シート固定	上部の取り付けは常にしっかりと締める必要がありますが、前部の下部サポートは緩めることができます。
9	リアバンパー	水平方向ではなく垂直方向への移動が許可されます。
10	その他の注意事項	ステアリングコラム520mmまで許容
11	オプションパーツ	ステアリングプレート2番

2回目の非予選練習からROTAXは、ジェット132、ニードル位置4、
0.65mmのスパークプラグギャップと55°Cのエンジン温度

注意: RMC GF 技術規則 2025 およびその付録に従って、特定のカテゴリ向けにメーカーがイベントで供給した標準コンポーネントのみを使用できます。

----- 技術規則終了 -----

